

2015-B

拠出金・基金の
名称

国際農業研究協議グループ／国際水管理研究所拠出金

種 別

イヤーマーク ノン・イヤーマーク

【拠出先の国際機関名】国際農業研究協議グループ(CGIAR)／国際水管理研究所(IWMI)

【所管官庁担当局課・室名】農林水産省 大臣官房 国際部 海外投資・協力グループ

【当該任意拠出金の目的・用途等】

気候変動に伴って増加することが懸念される水関連災害(洪水や干ばつなど)に対して脆弱なアジア地域において、洪水や干ばつに適応した水管理技術および灌漑技術の開発に係る支援を行うため、次の事項を実施する。

- ①早期警報システムや洪水保険スキームの構築に資することを目的に、衛星から得られた地球観測データ等を活用した、洪水および干ばつの頻度や被害範囲、農業生産の損失や人的被害を分析する手法の開発。
- ②洪水が頻発している流域を対象に、衛星観測によるリアルタイム降水量データを活用した洪水予測モデルの適用手法の開発とともに、貯水池や洪水地下貯留の設置による洪水緩和機能および干ばつ時の灌漑用水供給能力を評価する手法の提案。
- ③研究成果のインターネット等での公開とともに、現地への普及のため、政府機関や国際支援機関の職員を対象にした研修の実施。

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成27年度	25,030	228		1米ドル = 110円	100
平成26年度	24,523	253		1米ドル = 97円	100
平成25年度	23,974	292		1米ドル = 82円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

・2008年には、IWMIの業績が傑出しているとして世界銀行から評価された。また、2012年にはストックホルム水大賞をIWMIが受賞している。さらに、IWMI職員がICID理事やストックホルム世界水週間2016の科学プログラム実行委員を担当しているほか、世界水会議やラムサール条約のパートナーとなるなど、重要な国際的活動にも参画している。このような業績の評価や国際的な貢献の観点から見ても、IWMIは水分野における国際的な専門研究機関として、重要な役割を果たしており、IWMIへの我が国の拠出金により、洪水や干ばつに適応した水管理技術および灌漑技術の開発に係る支援を行う意義は大きい。